

つながるスイッチ!!

久留米市社会福祉協議会

vol.15

支え合い推進会議

—その⑪—

「安武校区」の
取り組み

支え合い推進会議の取り組みを紹介していくシリーズ第11弾。今回は「安武校区」をご紹介します。

安武校区社会福祉協議会

会長 緒方眞一さん
おがたしんいち

安武校区まちづくり振興会

事務局長 中島浩一さん
なかしまこういち

(有)クママル電器

会長 井上雄之さん
いのうえ たけし

「やすたけ愛ネット」と
地元のお店との連携

安武校区支え合い推進会議では、地域の課題を把握するため、令和元年7月、高齢者を対象に「困りごとアンケート」を実施しました。その結果、「重い物の移動」といった生活上の手助けや、「草取りや庭木の剪定」などの季節の仕事が困りごとの上位にあがりました。この結果をもとに活動内容を決定し、令和3年10月、校区住民の困りごとに対応する団体「やすたけ愛ネット」が立ち上がりました。

その後、住民からの依頼を受け、活動を行っています。始めてみて実際に依頼が多かったのは、「買い物や通院の付き添い（タクシーに同乗）」です。なかには、「食事づくり」といった依頼もありました。

愛ネットが立ち上がった以降、どんな依頼があったか支え合い推進会議で報告し、「どう対応したか」「今後、対応できるかどうか」などについても話し合っています。さらに、校区内の様々な情報もあわせて報告することで、支え合い推進会議が地域のニーズを共有する場になっています。

そのなかで、「高齢者宅へのお弁当配達をしていたときに『電球交換に困っている』人がいた」という情報をキャッチ。「電球交換」は愛ネットの支援メニューの一つとしてチラシにも掲載していましたが、「高所の作業は一般のボランティアにとつては危ないのではないか」という意見が出ました。「脚立作業は危険を伴うため、愛ネットでは対応が難しい。プロに頼んではどうだろうと、会議で話し合いました」と緒方さん。その後、昔から地域活動にも関わっていた、安武校区内の電器店「クママル電器」の井上さんにその旨を相談。井上さんは快く了承されました。

井上さんは、「やすたけ愛ネット」の活動に賛同され、「手伝えることがあれば相談してもらって大丈夫」と電球交換以外の活動への協力も申し出られたそうです。「量販店やネット販売に押され、私たちの業界も正直厳しいのが現状です。我々は地域がなければ成り立たない。だからこそ、地域と関わること、人間関係を築くことが大事だと考えます」と井上さんは話されます。

愛ネットでは、活動してくれる協力会員1人の活動30分につき200円の利用料金がかかります。しかし、電球交換の

依頼については、依頼者がクママル電器で電球を購入することによって利用料金は頂かないと取り決めました。「依頼者は困っていた電球交換をしてもらい、電器店は電球を買ってもらう。依頼者と電器店、ともにウィンウィンの関係になれます」と緒方さんは校区と地域の企業・店舗との新しい関わり方を話されます。

ただ、その後の電球交換の依頼は今のところゼロ。「もともと地域をまわっているから、その都度解決しているというのはあるだろうね」と井上さん。しかし、愛ネットと電器店が連携したことで、「危険だから」という理由で依頼を断らずに解決先を案内でき、クママル電器も地域とつながる新たなルートを得ることができました。こうして校区内に良い循環が生まれつつあります。



「やすたけ愛ネット」活動の様子

● 緒方さん
先日、支え合い推進会議内で「庭の大きな木の枝が隣の家にはみ出て困っている」という住民の声が話題になりました。すると「自分が切つていいよ」という人がいてすぐに対応。次にその切った木の処分についていたところ、薪ストーブを持っている人がいるという情報が入り、伐採した木をもらってくれました。このように、困りごとがあれば住民同士で情報を共有し、助け合うことができる校区ですが、助け合いのかたちの一つとして愛ネットも続いていけばと思います。
また、今は高齢者の困りごとへの

活動して
思うこと、
これからのこと



(有)クママル電器外観

対応を中心に行っていますが、子どもや若い世代への取り組みも必要だと考えています。「やすたけ愛ネット」で対応できる活動内容を増やしていくこと、それに伴って協力会員も増やしていくことが今後の目標です。

● 中島さん

今後は、世代に関係なく皆が住みやすいまちになっていけばいいと思います。そして、愛ネットがその一助になればいいですね。買い物支援の際、支援した側から「楽しかった」という声を聞いたことがありました。負担になっていないかと心配していた分、とても嬉しかったです。人の助けになりたい、人と関わりたいと思っている人は沢山いるはず。その声を丁寧に拾いながら、「住みやすいまち」を目指します。活動の周知については、口コミが大事だと思っています。最初は力が必要でも、まわり出せばスイスイ進む自転車のように、口コミが広がれば愛ネットもだんだん地域に定着していくと思います。

● 井上さん

これから、地域の過疎化が大きな問題となってくると思います。若い人たちが地域にどう引き留めるか、行政とも連携を取りながら策を練らなくてはいいけません。私はここでお店を始めて50年以上になります。オープン当時からのお客様の困りごとにはスピーディーに

対応し、これからも地域を大事に仕事をしていきたいと思います。今回、「やすたけ愛ネット」の話を聞いたことを大変喜んでいました。企業やお店側も、地域ともしっかり関わりたいと望んでいると思いますし、もしかしたら、そういった声をかけてもらうのを待っていらっしゃるかもしれません。もっと地域の企業やお店も住民と一緒に、地域を盛り上げていきたいものです。

取材を終えて

つながるスイッチ!!シリーズ初のお店の店主さんが参加しての取材。場所もクママル電器の店内で行われました。取材中、お客さんが訪れ、従業員さんが行き交い、電話も鳴り：活気溢れる空間での取材となりました。校区内のお店の話や「○○さんがこう言っていた」など、取材中も身近な話題がたくさん出てきて、地域の皆さんがお互いに近い存在なのが伝わってきました。そして、今回取り上げた電球交換の依頼ですが、この記事が良い告知となり、依頼がバンバンくるかもしれない！と3人は笑顔でこれからこのことを楽しみにしていました。



緒方 眞一さん 井上 雄之さん 戸部田 喜嗣さん 中島 浩一さん

皆さんに休日の過ごし方をお尋ねすると、緒方さんはウォーキングと読書がお好きだそう。あと、時間がある時は必ずインターネット検索をして、今、何が問題になっているのか最新の情報にアンテナを張っているそうです。中島さんは散歩が趣味。コースを決めずに、その時の気分で色々なところを歩いているそう。「見慣れたところでもゆっくり歩いてみると新たな発見があって面白いですよ」と中島さん。井上さんはご夫婦で旅行に行かれているそうで、ずっと仕事ばかりで迷惑をかけてきた奥様への恩返しも兼ねているそうです。「妻へ、ゴマスリしてるんですよ」と照れながら話されていました。また、お仕事のため取材への同席は叶いませんでしたが、クママル電器の戸部田社長も一緒に写真に写っていただきました。

- 「やすたけ愛ネット」では、**地元企業・店舗と連携を取り、困りごとに対応**
- **お店側も地域とのつながりを大事に思っていて、お互いさまの関係性が出来ている**
- 今後も「**地域とつながりたい**」「**誰かの助けになりたい**」と思っている企業や住民の声を拾っていく
- 依頼数に関わらず、**ニーズを拾って体制を整え、口コミで定着させていく**。それが、困っている人を支える地域の仕組みづくりにつながる

久留米市社会福祉協議会

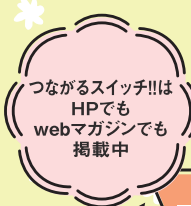
〒830-0027 久留米市長門石1-1-34

TEL: 0942-34-3035

FAX: 0942-34-3090

メール: heartful@heartful-volunteer.net

HP: <http://www.heartful-volunteer.net>



久留米市社会福祉協議会

検索

webサイト

[note一つくる、つながる、とどける。]で「つながるスイッチ!!」を検索してください!